

週報

Rotary



福岡中央
ロータリークラブ

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



世界に希望を生み出そう

「CREATE HOPE in the WORLD」

2023-2024年度 国際ロータリー会長

R.Gordon R.McInally

「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」

国際ロータリー第2700地区

2023-2024年度 ガバナー 吉田 知弘

「再び動かす我らの歴史」

2023-2024年度 福岡中央ロータリークラブ

会長 怡土 順治 幹事 泥谷 高博

本日の例会 令和6年3月18日(第2064回) VOL.47 No.29

卓話

「琉花ちゃんの魅力」

福岡中央ロータリークラブ 江口 裕 会員

水と衛生月間

今後の
例会予定

- ・ 3月23日(土) 例会及び第5グループIM (11時~例会 13時~IM アクロス福岡4階)
- ・ 3月25日(月) 休会
- ・ 4月 1日(月) 休会
- ・ 4月 8日(月) 通常例会
- ・ 4月15日(月) 通常例会 ※会場は14階

「眩しい夕焼け」

身体が不自由なので視線入力を使って描きました。お出かけした時に撮った写真を使って人やバギーをなぞり描きました。太陽の黄色の中に白を入れたり、波のキラキラや雲の陰影を描いたりするのを工夫しました。

廣田琉花



例会日…毎週月曜日 12:30~13:30 例会場・事務局…西鉄グランドホテル

TEL 714-0305 FAX 714-0311 E-mail fukuoka-chuo-rc@wind.ocn.ne.jp HP <http://www.fukuoka-chuo-rc.jp>

前週例会の記録(3月11日)

出席報告

前回例会 3月11日	前々回例会 3月4日
会員数 53名	会員数 53名
出席会員 37名	出席会員 49名
ビジター他 0名	修正 0名
合計 37名	免除 1名
出席率 69.81%	修正後出席率 94.23%

会長の時間

怡土 順治会長

13年前の本日、東日本大震災が起こりました。死者18,131人、行方不明者2,829人。住宅被害は全壊約12万9千棟。半壊26万5千棟。明治以降では大正12年(1923年)の関東大震災(死者・行方不明者 約10万5千人)、明治29年(1896年)の明治三陸地震(同 約2万2千人)に次ぐ極めて深刻な被害をもたらしました。その時生まれた子は中学生になり、中学生だった子供は社会人になっています。何度もくじけそうになりながら、何度も立ち上がったことでしょう。阪神淡路大震災が起こったのが1995年1月17日。死者数6,434人。会員の皆様ご自身やご家族やご親戚、またお知り合いの方の中には被害に遭われた方がいらっしゃるのではないかと思います。我々ロータリークラブはその都度、義援金を送ったり現地で活動したり、被災者の方に寄り添ったりしてきたと思います。そういった活動を誇りに思うとともに、これからも例会で学び会員の活動から刺激をもらいながら日々反省しながらロータリー活動をしていければと思います。さて、ロータリーの活動費は年間どのくらいかかっているのでしょうか?年会費66,000円×4回、地区負担金6,000円×4回、交換学生負担金2,000円、地区大会負担金10,000円、ポリオプラス負担金2,500円。これだけでも年間302,500円。これ以外でも追加で寄付をお願いさせていただいたり、テーブル会や夜間例会等が加われば年間40万円~50万円くらい支払っている計算になります。私のお客様に経営コンサルの方がいらっしゃるのですが、よくロータリーの費用をどうするのか議論になるそうです。恐らく、いい方向の話ではなさそうですね。この会員の方はロータリーを楽しめていないからコンサルの方に反論できないのではないかと思います。必要経費であれば問題ないはず。ですので、本日は「ロタパ」をあげるにはどうしたらよいのかという話をしたいと思います。「コスパ」はみなさんご存知ですね。最近では「タイパ」「スペパ」という言葉もでてきました。「ロタパ」とは私が作った造語で「ロータリーパフォーマンス」

の略です。ここで改めてロータリーの目的をみますと、第1に「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」と書いてあります。ロータリーの魅力はロータリーバッジがあれば全国、全世界の例会に参加ができます。以前の会長の時間の時に人はどれくらいの時間を過ごせば仲良くなるのか、という話をしたかと思えます。約50時間を共に過ごすただの「知り合い」から、そこまで親しくはないものの一応「友人」となる。約90時間で「友人」とははっきり言える関係になる。200時間以上で「親しい友人」になるそうです。つまり親睦の時間が多ければ多いほど早く「親しい友人」になるのですね。今日はこの話にダンバー数の話を組み込んでみたいと思います。ダンバー数とは1990年代にイギリスの人類学者であるロビン・ダンバーによって提案されたもので、人間が安定的な社会関係を維持できる人数の上限値のことです。「5-15-50-150-500の法則」とも言われています。最初の5人は、精神的な支えになってくれたり、困ったときに助けてくれたりする人数で家族などに近い繋がり。次の15人は、シンパシー・グループと呼ばれる人たちのことで、家族や親友ではないが、その人が亡くなるとひどく悲しむような人たちのこと。次の50人は、比較的頻繁にコミュニケーションを取る(取れる)人達。そして150人というのがダンバーの言う、一人ひとりの顔を覚えていて、名前と顔がしっかり一致できる限界の数字。その上の500人と言うのは弱いつながりと言われる人の数で、会ったことはあるが、それほど親しくない人の数、だそうです。来週末に当クラブ主催のIMが開催されます。当クラブは2700地区の第5グループに属しています。2700地区とは、日本にある34地区のうちの1つで、60クラブが所属しています。これを7つのグループに分けています。我々の第5グループは10クラブが所属しています。IMはこの第5グループ10クラブ(福岡西・福岡城西・壱岐・糸島・壱岐中央・福岡中央・博多・福岡北・福岡城東・福岡イブニング)のミーティングになります。地区大会は2700地区、60クラブのミーティングになります。会長・幹事は「会長幹事会」というものがあり、年6回ほど集まり親睦を深めています。一般の会員の方はなかなかそういう機会がないので、横の繋がりを目的として開催されています。先ほどの「ロタパ」を上げるには、限られた時間で名刺交換等をして知り合いを増やす、地区の委員会に入り交流する時間を増やすなどの工夫が必要です。例会も1時間しかありませんが、積極的に話をしようと思えばできるはず。ロータリーは機会を与えてくれています。積極的に活用して「ロタパ」をあげてもらえればと思います。少し長くなりましたが本日の会長の時間はここまでにしたいと思います。